



INFORMATION

大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市
東住吉区長居公園1-23

TEL : 06-6697-6221

FAX : 06-6697-6225

<https://www.omnh.jp/>



休館日

月曜日(休日の場合は翌平日)

開館時間

[11~2月] 9:30~16:30(入館は16:00まで)
[3~10月] 9:30~17:00(入館は16:30まで)

入館料

特別展: 大人: 500円 高大生: 300円

※本館(常設展)とのセット券は、大人700円、高大生400円。

※本館(常設展)、長居植物園への入場は別途料金が必要です(セット券を除く)。

常設展: 大人: 300円 高大生: 200円

※中学生以下、障がい者手帳など持参者(介護者1名を含む)、
大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明)。

※30人以上の団体割引あり。

アクセス

Osaka Metro御堂筋線「長居」3号出口 東へ800m
JR阪和線「長居」東出口 東へ1000m



「瀬戸内海の家浜植物」の表紙の原画

自然史博物館のミニガイド「瀬戸内海の家浜植物」表紙イラストの原画を展示して、親しみをもってもらうための絵が描かれる過程やその思いを紹介します。



ミュージアムグッズ大集合!

緻密な線画からポップなイラストまで、自然史博物館の歴代のミュージアムグッズ(Tシャツ、バンダナ、バッジなど)を展示して、その魅力について振り返ります。



おススメコレクション

大阪市立
東洋陶磁美術館

青花虎鵲文壺

「吾輩は猫ではない。虎である。」 遠くにそびえる山並みの上に満月がかかる夜、断崖の上を猫のような虎が悠然と歩いています。ツートンカラーの毛並みに長い胴と尻尾をもった愛嬌のある虎は、断崖絶壁から現世を見下ろすかのような微笑みを浮かべています。余白をとった構図には、詩的な風情を感じさせます。裏面では、うづくまる虎が枯木に止まる鵲(かささぎ)を見上げています。虎は朝鮮半島に多く生息し、靈獣として信仰され、崇められていました。吉報を知らせる鵲と一緒に描くことで吉祥性を高めた図案となっています。

大阪市立東洋陶磁美術館 主任学芸員 鄭銀珍

※当館は改修工事を経て2024年春にリニューアルオープンします。この作品は新しく導入した独立ケースで展示します。猫のような虎のユーモラスな姿、裏側のうづくまった虎や鵲の姿など360度からお楽しみいただけます。

住所 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 TEL 06-6223-0055 FAX 06-6223-0057
ホームページ <https://www.moco.or.jp> アクセス ●京阪中之島線「なにわ橋駅」1号出口すぐ
●Osaka Metro・京阪本線「淀屋橋駅」1号出口、「北浜駅」26号出口各駅から約400m



青花虎鵲文壺
朝鮮時代・18世紀後半
大阪市立東洋陶磁美術館
(住友グループ寄贈/安宅コレクション)

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://museums.ocm.osaka>

- 大阪歴史博物館
- 大阪城天守閣
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立美術館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市文化財協会
- 大阪市立科学館
- 天王寺動物園
- 大阪中之島美術館
- 大阪くらしの今昔館